

平成 28 年度第 2 回南丹市有線テレビ放送番組審議会＜会議概要＞

日時	平成 28 年 11 月 24 日（木）午前 10 時～午前 11 時 38 分
場所	南丹市役所 3 号庁舎 2 階 第 4 会議室
出席者等	<p>■出席委員：8 名 芦田美子副会長、森為次委員、吉田尋子委員、 吉田修委員、山口恒一委員、西岡守委員、 松村賢治委員、堀江長委員</p> <p>■事務局：10 名 企画政策部情報政策課 八田課長、高屋課長補佐、大狩主査 （公財）南丹市情報センター 小寺常務理事兼事務局長、 鳥居事務局次長兼事業課長、 広戸事業課長補佐、塩貝制作係長、 川勝満主事補</p> <p>■傍聴人：0 名</p>

1. 開会（事務局）

2. 議題・意見交換・その他

（事務局） それでは議事に入らせて頂きます。議事の進行につきましては、南丹市有線テレビ番組審議会の規則に基づきまして、副会長様にお世話になりたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

（議 長） それでは次第に基づきまして審議を進めていきたいと思ひます。

まず、議題（1）自主放送番組について、事務局から報告を頂きます。その後説明頂きました件も踏まえまして、議題（2）意見交換を行いたいと思ひますのでご了承賜りますようよろしくお願いたします。では事務局から報告をお願いたします。

（事務局） 前回の番組審議会の中で番組はどういったものをさせて頂いているかは、一通りご説明させて頂いておりますので、今回は特に重点的に取り組んでおります内容についてご説明させて頂きます。ニュースや企画番組、学校番組などの制作において地域や学校と連携を密にし、情報収集や取材にあたっています。特に今年度は「森の京都ターゲットイヤー」であり、「京都丹波高原国定公園」に指定された南丹市の自然や伝統文化、食文化など魅力を紹介する番組や、「全国育樹祭」の関連番組、また中継車を使った生中継などに取り組んでいます。小学校の再編に関しましては、今年度新しくスタートした美山小学校について、旧小学校の歴史や取り組みを盛り込んだ記念番組を放

送しました。また市内で並行して新しく始まっています、各小学校の跡地活用や地域の取り組みについても取材を進めています。

生中継番組に関しましては、南丹市議会定例会本会議や参議院の選挙の南丹市の開票速報、また南丹市消防団操法大会、そして京都丹波トライアスロン大会 i n 南丹、京都南丹市花火大会も生中継で放送しました。昨年度から東京オリンピックを見据え、スポーツで活躍する若者達を紹介することや、

生中継への新しい挑戦を控えて中継車を使った様々な生中継を行っています。生中継番組に関しましては今紹介しました以外に、中学校のバスケットボールの男子新人戦や、今後この12月には少年サッカー大会、来年は成人式やスポーツ文化賞の表彰式などを予定しています。

ニュース番組の週2回化ということで、昨年10月からニュース番組を週2回に増やし放送しています。こちらのほうは南丹市の情報センターの中で特に柱となる番組で、視聴者にもよくご覧頂いている番組です。ニュースの内容をより深く取材すること、内容を充実したものにすることをテーマに取り組んでいます。

主な特集として、今年は「森の京都ターゲットイヤー」ということで「育樹祭」などもあったので、そういった各種団体などの取り組みも重点的に取り上げました。また防犯・防災や、福祉環境、文化活動、まちづくり、人、などの特集も行っています。

また、CMで赤い羽根共同募金や鉄道踏切事故防止啓発といったものも流させて頂いています。

伝統芸能、文化に関しましてはご覧の各種地域で行われている祭りなども取材させて頂いています。特集の中では子供の主張大会や合唱、各町の文化祭、この秋に終わりましたがそちらの方も撮影させて頂き、このお正月を放送の期間とさせて頂いている予定です。京都府との連携番組ということで、京都府南丹広域振興局からの依頼番組、「とれたて新鮮！森の京都丹波っ！」は南丹市、亀岡市、京丹波町の話題を取材し、各月1回の放送をしています。京丹波町でも放送させて頂いて、企画は京都府の方がされてこちらで撮影・編集を行っている番組です。今年度は佛教大学の公共政策学科の学生と共に作る番組ということで、3回盛り込ませて頂いています。

京都府メディアネットワーク広報企画業務ということで、京都府内の各ケーブルテレビや、ラジオ局などがこちらのネットワーク会議の方に加盟をいたしまして、各局がいろんな番組を作るということを行っていますが、南丹市情報センターの方では今年は「京都丹波高原国定公園の魅力 ~生命の息吹人びとの暮らし~」という番組を作らせて頂きまして、9月25日に放送を行っています。こちらは後でご覧頂きたいと思います。

続きまして災害時の対応についてですが、職員の対応については緊急対応

項目と災害放送についてマニュアル化をしました。今年の9月20日台風16号は市役所と連携して対策本部会議に出席し、有線放送やデータ放送で住民への注意を呼びかけました。また、緊急情報の第一報を速く皆さんにお伝えするというので、Lアラート（災害情報共有システム）を運用しています。各局でいろいろ速報が出ると思うのですが、南丹市の方でもこのシステムを使って速報を出すということです。今年に関しては11件、大雨の警報などが多かったので地震を含めて発報しています。また京都府マルチハザード情報システム、Lアラート、また主要河川の水位をライブ配信を南丹市のホームページでさせて頂いているのですが、これらのシステムをご利用になると便利ですという紹介の番組を制作して放送しました。

また、放送施設の見学の受け入れということで、この季節は特に多いのですが、小学校の施設見学や中学校の勤労体験（今年は3校）、大学からはインターンシップの受け入れを行いました。

なんたんテレビマスコットキャラクターの「じゅういちくん」は11月がお誕生日で、視聴者の方からイラストを募集するなど、住民の方との参加型で取り組みを行わせて頂きました。また、今年度3月まで、こういったことをベースに番組作りを進めていきたいと思っています。足早に報告させて頂いたのですが、京都府のメディアネットワークの方で作らせて頂いた、「京都丹波高原国定公園の魅力～生命の息吹 人びとの暮らし～」という番組と、今年は「育樹祭」があり、「育樹祭」の関連をニュース番組で紹介をしているものがありますので、そちらの方をご覧頂きたいと思います。

-----【番組視聴】-----

- (事務局) 大変長い時間ありがとうございました。以上でビデオの視聴は終了させて頂きます。それでは副会長様、進行の方をよろしくお願いします。
- (議長) ありがとうございます。それでは今視聴させて頂きました番組や報告の内容、その他ケーブルテレビや自主放送番組全般についても意見交換を行っていきたいと思います。なにかご意見、ご質問などございませんか。
- (委員) 今このような番組を見させてもらいましたが、普段なかなか時間的に見られず見たかったと思う番組がたくさんあります。1日の中で何回も同じ番組が並んでいますが、ある時間帯は過去の番組を再放送する時間帯、NHKのアーカイブではないですけど、良かった番組、特集した番組をまた再放送して頂けたら、見逃した番組ももう1回見られるのかなと思います。
- (議長) ありがとうございます。事務局の方から答弁をお願いします。
- (事務局) こういった特別番組はお正月などに再放送させて頂いたりしていますが、通常の時間帯にというお話もあったのでそういった部分は改善していける

と思っています。将来的には各番組を皆さんに見て頂けるような、システムも取り入れてやっていかなければならないというのは課題でもありますし、今後研究を重ねていきたいと思います。

(議長) ありがとうございます。関連したことでも結構ですし、他の点でも結構です。何かご意見等、ございましたらよろしくお願いします。

(議長) 最終ページになるのですが、災害時の対応についてご説明を頂きました。その中でこれだけLアラートを流したと教えて頂いたのですが、私が気がついただけで3回聞き落していますし、見落としもしています。私がひとりて居る時ではなくて、お年寄りの方が集まっていらっしゃる施設にボランティアで行かせて頂いたところでたまたま見たことがありました。誰も気がついていなかったです。理事長さんも別の部屋で事務をしていらっしゃったのですが、全く気づいていらっしゃらなかったです。

非常時に南丹市から流れる非常警報システムとLアラートはテレビが消えているときはどうなのでしょう。最初そのことに気づいたのは、八木の老人福祉センターにいた時でした。知りあいなど大勢の方がご参加くださって、私たちも入れて30名ぐらいが2階の広場のところで活動していて、事務職員さんが2人いらっしゃって、シルバー人材センターの方もいらしゃいしましたが、地震の時に誰も気がついていらっしゃらなかったです。「災害の時どうされるのですか。」「そうですね、そんなことまだ考えてなかったです。」というふうに避難させるということも大事なことというお話をしていました。その時はそれで済んでしまいました。私がケータイを見たら市内はだいぶ揺れた、どうだったと夫から連絡が入っていましたが、皆さん誰も気づいていないみたいです。そのようなところ、どのような連絡方法になっているのか教えて頂きたいと思います。

(事務局) 役割がいろいろあって、Lアラートは第一報が早くいくシステムなので、ずっとそれが流れっぱなしになるということではなく、各局どこも速報で地震や警報が出た時に文字だけ出るのがあると思いますが、そのシステムを採用したということです。これに関しては速報が3回くらいロールして流れて消えてしまうので気づいて頂くというのは、たまたまテレビを他のチャンネルではなく11chにつけてもらって、早く見て気づいてもらうというために取り入れたシステムです。避難など次の段階になると市役所との連携になりますが、データ放送やL字放送の割り込みで自動的に変わるなど、防災無線の方も連動していると思いますので、そのどれかにひっかかってもらったら気づいて頂けるということです。テレビをつけていないとなると、防災無線が入っていればそれで気づかれると思いますし、テレビを11chにつけていてもらったら、Lアラートに気づかれなくても次の段階としてはL字放送で割り込んで、「震度〇の地震がありましたので～してください」と

いう放送があると思います。11chをつけていない視聴者の方はなかなか難しい問題ではありますが、全てが連動しているという形で今はさせていただいています

(事務局) 追加の説明をさせていただきます。まずLアラートというのは11chを見ておられたら、気象情報ですと警報、地震ですと震度3以上、こういう情報が気象庁から入りまして、南丹市のエリアにテレビの上に新幹線車内のスクロールのように大雨警報が発令されたとか、地震が南丹市で3以上ありましたという内容がスクロールで流れます。テレビの他のチャンネルでもありますように、最初流れたら何回かしたら消えるというものです。自動的に流れるのがLアラートというものです。

もう1つはデータ放送であり、11chをつけて頂いてdボタンを押すと、南丹市の気象情報など重要なお知らせということで映りますし、市のほうから例えば土砂災害などで避難して頂きたいということでしたら、文字で情報が出るようになります。あともう1つは防災行政無線があって、自動ではなくこちらが録音させて流しているというものです。

先程、副会長様からありましたように、自動起動のテレビであるとか自動起動のラジオを整備している自治体もありまして、防災無線が聞けない時、テレビが映っていない時に、どうするかという課題もあります。

市としましてはいろんな情報伝達手段を持ちまして、いち早くお伝えすることが重要であると考えて、今後平成29年度に向けて何らかのアクションを試行的にやっていきたいと考えているところであります。今は検討段階であります。高齢者や、幼い方、弱者の方が避難されるにあたり、いち早く伝達できるような方策を考えていきたいです。

(委員) 今、南丹市の防災システムの説明がありました。二重三重のシステムになっていますが、南丹市民にとってみると当たり前になっています。その中で1ヶ月前に亀岡市の方で、防災関係に非常に熱心に取り組んでおられる方の視察を受けました。視察内容は南丹市はどのような防災システムになっているかというものでした。南丹市の防災システムを説明させて頂いて、台風シーズン前になりますと南丹市情報センターで防災関係の特別番組を組んで流しているのですが、それを見て頂くと非常に驚いておられました。今の亀岡市の状況を言いますと、なんらかの緊急情報を流すシステムとして屋外スピーカーがありますが、これは夜中には聞こえません。台風の時に雨戸を閉めていたら聞こえません。それ以外は消防団が車で鐘を鳴らして回るぐらいしか亀岡はないということです。亀岡市は平和池ダムの決壊が過去にありましたが、柏原集落の全滅した地帯は、3年前に台風18号の際、雨により海のようにになりました。南丹市以上にひどい災害を受けた亀岡市の防災システムがこのような状態で、そういう意味では南丹市は非常に優れたシステムで、

当たり前になっていますが、南丹市の防災システムは非常に先進的なシステムになっていることを私自身も再発見しました。この場を借りて報告させていただきます。

(議長) 委員から亀岡市と比べて南丹市はずいぶんいろんなことをがんばって頂いているとご意見を頂きました。先程お話しをさせて頂いていないですが、dボタンを普及させていくことや防災無線もほとんどの家に入れて頂き、L字アラートは11chで即時に入るようになっています。連携を上手に今やっ
ていこうとしているというお話を伺いましたが、ありがたく思いました。

私は高齢者の方と関わっている時間がとても多いです。防災無線が八木町に入ってから10年近くになると思うのですが、点検が必要な時期になってきているのではないかと思います。ひとつひとつの機器をみたら、止めてしまっている家庭もあります。電池が切れてしまったりであったり。各自治体というよりも、言って頂いたら区長さんを通すことやあるいは組織があるので、先程もあったのですが、情報センターの人がdボタンはこうやってすると言ってもなかなか普及しないという話をおっしゃっていて、教えて頂いたら私達も伝えられるようになり「こうやってすると見られるよ」などと伝えていけるようにしていきたいと思います。南丹市はよいシステムがありますが、防災無線もうまく活用できていない家もあります。高齢者の方も、うるさいから切ってしまっています。ピッピッピという音が直しても鳴るのはどうしてでしょうか。申し訳ないですが、私の家に防災無線が離れと2つあるのですが、2つとも切ってしまっています。すみません。そんなこともありまして、あなたの家の防災無線は動いているかどうかと、情報センター、南丹市役所はお忙しくされているので、防災無線の点検を委託して頂ければと思います。点検の機会は少し必要かなと思っていますので、できるのであればお願いしたいと思います。

(事務局) 防災無線についてですが、美山町、日吉町、八木町は配置率がほぼ100%です。一方で1番最後に設置しました園部は6割程度です。単身のアパートが多いであるとか、新築の家で貫通してアンテナをつけるのが美観上好ましくないということで、園部町だけ著しく下がります。総務課の方でもPRであるとか、今おっしゃった電池の交換であるとか、定期的に広報していかなければいけないと言っていますので、データ放送のdボタンの使い方などは広報なんたんで紹介しましたが、次の機会で今課題とされる防災行政無線の電池等の点検であるとか、dボタンの使い方、災害時のLアラート等の表示等について広報させて頂きたいと思います。貴重なご意見をありがとうございました。

(議長) いかがでしょうか。せつかくの機会なので。

(委員) 視聴率は分かれますか。

(事務局) 視聴率を取ることはできていません。アンケートを取ることはできますが、率を出すことはできません。

(委員) 自主放送は同じものが1週間流れています。今、南丹市がやっている幼稚園の運動会などは時間も長く映りますが、地域で頼んで映してもらうものは、少し横を向いていたら消えてしまっていて次回映ることがありません。放送時間が短いので、それをなんとかしてほしいです。

(事務局) 番組表がお手元にあると思うのですが、たくさんの番組編成の中で限られた時間でこの枠を組んでいます。ニュースですと、週1回で1週間同じニュースが流れていましたが、去年の10月から週2回にさせて頂いています。見て頂いている方については面白くなったという評価も頂いているのですが、見たことがないという方もやっぱりいらっちゃって、せっかくよい番組を作っているのに、見て頂けるようにしなくてはいけないというのは我々の課題でもあります。情報提供して頂いたところではできるだけたくさん放送しようとするのですが、全体の番組編成の中ではどうしてもスポット的なニュースになってしまいます。ただ最近の週2回のニュースの中では、特集ということで少し切り口を変えたり、深く掘り下げたりして分かりやすくお伝えをしたりとそういう方向で努力をさせて頂いて、以前に比べると見やすく、面白くなったという言葉も頂いています。

(委員) 平均したら京都新聞でも農協の回覧板にしても美山町のことはずっと載っています。八木町、園部町のことはあまり載っていません。テレビもそうなのかもしれないと考えていましたが、園部町に名所がないのか分かりませんが、何かあるのかと思います。ただこうして見てみると美山町のことばかりで、もうちょっと考えられないかなと思います。

(事務局) 前回の審議会でも同様な意見を賜ったところで制作の方ではその点は十分留意して作っているのですが、ひとつは住民の方からぜひ取材に来てほしいと、またきっちり熱意がある内容だと若干優先してしまうと聞きました。今、委員さんのほうから再度ご意見を賜りましたので、もう1度制作の方にお伝えして均衡ある番組放送に努めたいと思います。ありがとうございます。

(事務局) 今年は「森の京都」ということで国定公園関連の番組は美山町のことでしたが、ニュースの中の割合としては各町同じくらい取材させて頂きました。

園部町もかなりプッシュして下さる地区の方もいらっしゃいます。毎回出るとは限らないですが、おっしゃって頂いたところにはなるべく行かせて頂くような形で対応させて頂いています。先程もう少し長く流れたらいいのというお話がありましたが、番組にこぼれた行事とか、例えば集落の方が実際に撮って持ってこられてそれを長く流すという枠もあります。投稿という形でニュースの1分、2分とかの枠ではなく、30分くらいの枠があるのでその中で流させて頂き、ニュースの中でも私達が行けなかったものは集

落の方に実際撮ってきてもらい、届けて頂いて編集させてもらっているものもたくさんありました。いろんな素材が集まってニュースはできているので、写真1枚でも動画でなくても少しあればこういったことが地域であったと紹介させてもらえます。携帯でも写真を撮ることはできますし、ちょっと撮ってきたということで届けて頂けたら、どんどんニュースの中に入れさせてもらおうかなと思っています。是非とも地域で得意な方がいらっしゃるようでしたら、運動会でも花火大会でも撮ってもらったら、それを流す枠は作らせてもらっていますので、是非とも協力頂けたらうれしいと思います。お願いします。

- (議長) ありがとうございます。他にこれだけは言っておきたいということはありませんか。
- (委員) 昨年から東京オリンピックを見据えてスポーツで活躍する若者ということで今回もビーチバレーの選手とか、いろいろ取り上げて頂いています。今、中学校でもいろいろな活躍された子を、各戸配布はできないですが、回覧板という形で紹介してもらっています。園部と八木だけだったかもしれませんが、そういう形で子供たちが活躍する場を大会だけではなく、またチャンピオンスポーツばかりではなく、こんなふうに頑張ったという言葉だけでも少し入れるように、地元で頑張っている子供たちを少しでも紹介する時間がこのような番組の中に入ればと思っています。自主番組は盛り沢山で大変入るのが苦勞されると思いますが、参考までにまた考えて頂いたら有難いです。議会を縮小してまでとは言わないですが、よろしくお願いします。
- (委員) 学校の事を細かく取材して頂いていろいろと映して頂いているので、子供たちも励みになりますし、親御さんもこのように頑張っているのだな、また他の学校はこのような様子だなということをいろんな場面で知れることが多くあります。また体育祭や文化祭など細かく丁寧に作って頂いているので、見に行けなかった保護者の人もそれで確認することもできますし、子供たちも自分の姿がこうやって頑張れているなど見ることができてとても励みになっています。

ひとつ教えて頂きたいのは、もぎたてニュースの中でいろいろ学校のニュースも入れて頂くことがあるのですが、子供たちから映っていたと聞いても見逃してしまったことがあります。もぎたてニュースをずっと見ている人は次に何が映るのか分かりますが、もぎたてニュースに限らずですが、いつの番組に何が映るのかどれくらいのスパンで先が分かっているのか、もし分かっていたらそれを広報して頂くと見逃したものを子供たちも親御さんも見られるのではないかと思います。私も映っていた行事があると言われて、そうだったのみたいなこともあるので、何か手だてがあればより皆さんの目に映るのではないかと思います。

(事務局) 体育祭など大きい行事は番組表にしっかり載りますが、ニュースの細かいネタは週2回になったというのもある、すぐに放送されますので番組表に載せるのは難しい話です。学校の方は、これがいつ映るかという確認を絶対されるので、私達の方からも何曜日から映りますということをお伝えさせて頂いて、そこから子供たちに伝わるのか話題になっていく機会があるのかなのか分からないですが、取材をした時にこれがいつなのかその時点で決まっています。例えば金曜日に撮影した物は土曜日のニュースに入り辛いので次の水曜日の放送にまわし、その間にあるものは全て土曜日に入るという形で周期が決まっています。撮った時点で先生にお伝えさせて頂いています。地域の方も一緒です。放送が何時だと聞かれたら何日の何曜日のニュースに入りますとお伝えさせてもらっている、先生の方から子供たちに映るので見てねと言って頂けたらより見て頂けるのかなと思います。私達もなるべく見てほしいので、いろんなところで言っているのですが、1週間ではなくなったので見逃したということもあります。広報をしていこうと思っています。

(事務局) 水曜日にニュースが始まるものは、前の週の例えば金曜日、土曜日、日曜日の週末にあったものが水曜日に入りますが、火曜日に撮ったものは次の日にはなかなか入らないので、火曜日に撮影させてもらったもの、水曜日、木曜日まで撮影したものは土曜日に入ります。イレギュラーなもの、季節的なもので来週に延ばすとニュースのネタとしてはそぐわないものは急いで金曜日に収録して土曜日に入るというものの中にはあります。そういった場合は地域の方に今週放送されるので見てくださいと言わせて頂きます。生放送ではないので金曜日に撮影したものはどうしても土曜日のニュースには入れられないという事情があります。土曜日のニュースは火曜日から木曜日のものが流れますし、水曜日のニュースは金曜日から月曜日に取材をして月曜日のものが入ることはありますが、週末にあったイベントなどのニュースは水曜日に入れさせてもらうという形になっていますので、その目安で見て頂けたらと思います。

(委員) ありがとうございます。よく分かりました。

(議長) あとは委員からご意見がありましたが、その学校がどのように知らせてくれるか、地域の方がどのように知らせてくれるかということだと思います。

きちんと日を教えて頂きましたのでそれを広報していくようお願いしたいと思います。

(議長) 他にどうでしょうか。ご質問やご意見はありませんか。

(委員) 先程亀岡市はCATVがないとおっしゃいましたが京丹波町はあります。京丹波町もいろんな番組を作られていると思いますが、南丹市と京丹波町でお互いに番組の提供をしあうとか、京丹波町のことを知りたいし、南丹市の

ことも知ってもらいたいと思います。親戚が京丹波町に多いですので、もし可能であれば、大きな話題を情報公開ということで番組の提供のやりとりをしてもらえたらと思います。

(事務局) 一緒に作らせてもらうものもありまして、作らせてもらったものを京丹波町で見て頂くこともあります。普段の番組でも今流させてもらったようなパッケージや特集でつくったようなものを、お互いに交換して時間を作って流したことは過去にもありますし、今後もできることかなと思います。非常に残念なのは日常のニュースを交換ではなかなかできないことです。お住まいが京丹波町でお勤めは南丹市という方もたくさんいらっしゃいますし、その逆もありますので、本当は両方が見られたらという話を私達もよく聞きます。しかし現在のところは特集で作ったような番組の交換くらいにとどまっています。同じものを流すという共有は今もありますが、今後も意識的に番組をたくさん交換して流していけたらと思います。

(事務局) 補足ですが、先程も報告させてもらいましたが、京都府南丹広域振興局の依頼を受けて京都丹波2市1町の広報番組を作っています。これまで4、5年かけて作っています。過去で制作した25本は南丹広域振興局のホームページで見られます。またご覧頂きたいです。

(議長) 大学生がレポーターになって京丹波町と南丹市と取材された番組が映っていましたね。

(事務局) それは今年から南丹振興局と佛教大学と私どもと三者連携でやりました。だから全部佛教大学の学生です。

(議長) 親しみやすくてとてもいいなと思いました。

(委員) 自主放送の分で大変盛り沢山の作品を見ましたが、今年についてはターゲットイヤーということで、美山町や日吉町で「育樹祭」、そして「森の京都」ということで取り上げて頂きました。できたら先程委員さんも言われましたが、月に限っても構わないので園部地域を取り上げて放送しようというように、CATVの今回はこういう方針でやるとアピールできたらいいと思います。前回は聞かせてもらったのですが、日吉町と美山町はどうしてもネームバリューとかブランドがあり、そちらの方に目がいくというのは皆さんも同じだと思います。園部町、八木町はなかなか映してもらえていないように感じます。地域を特定した形で取り上げてもらうのもいかがかと思います。

(事務局) お二人の委員さんのご意見もそうですが、印象から美山町が多いのかと思います。人口比で言いますと園部町の加入者数は58%で美山町は15%足らずです。ただ、まちづくりや取り組みなど情報発信をしようというように、情報提供量の数が全然違うのが事実でありまして、頂いたものをヒントにうちのスタッフが議論してとりあげようと選択させて頂いています。選択肢が多いというのがひとつ、今の現状であるのと、今年のテーマが森の京

都ということがありました。ただ先程言いましたような多くの視聴者の比率からいうと園部町は高いので、今おっしゃって頂いたことをヒントに番組を取り上げることはできないか議論をしていきたいと思います。

(委員) 確かに美山町は話題が多いということなのですが、美山町はこれまでのまちづくりの手法が他の3町と違うところがあります。美山町は振興会単位でまちおこしをやろうとされていて、振興会単位での競争原理が働いて取り組みごとにそれぞれ情報発信が必ずあります。4月からセンターのお世話になっていますが、わざわざ取材依頼に来られる方は美山町が圧倒的に多いです。電話やメールでの依頼も圧倒的に多いです。だから美山町に偏っていいのかなと思います。それを見られた他町の方が、刺激を受けて私達もやろうかという動きが最近見えてきました。園部町のある地域が最近少し多くなってきたと感じます。いい刺激になっています。そのような効果に対してケーブルテレビがサポートできているところもあると思っています。先程テーマを設定してというご意見もあり課題にさせていただきますが、取材依頼に基づいてできるだけ取材に答えて、期待に応えてやっていきたいと思いますのでご理解頂きたいです。なかなか美山町の取材も半日～1日ばかりでまた大変なのですが、少ないスタッフの中で地域の思いに答えようとスタッフは頑張っておりますので、ご理解頂きますようお願いいたします。

(委員) 今観光で中国人の方がたくさん園部町にも京都市からきていらっしゃいます。園部駅で降りる人は美山町・るり溪のどちらかに行かれます。時間的に園部駅で1、2時間待たなければいけません。その間にどこか行くところはないかとおっしゃる人が多いです。だから園部町でも、城の跡があり、その近くでお宮さんとか生身天満宮とか、これをもう少しケーブルテレビでも宣伝してもらって、待ち時間の間にそこまで行けるように映してもらったらいいのではないかと思います。ただ通り過ぎて駅で降りて即美山町、そしてるり溪で家にそのまま帰られます。何かケーブルテレビで園部町を宣伝してもらおう形にならないかなと思います。

(委員) 今、中国方面から訪れる方が多いですね。

(事務局) そうですね。中国・台湾からの観光客の方が多いです。美山町に行く場合は、今はインターネットの時代ですので、全て自分達でいろんな情報を探しています。

(委員) 日本人でも大阪あたりからいらっしゃるのですが、時間待ちの間に行くところがありません。

(委員) 園部高校のお城の門が以前テレビで出ていましたね。初めて中を映していたのを見ましたが、とても趣があっていいなと思いました。あのようなものをもう少し映せば、観光名所になると思います。

(委員) 南丹市役所ももう少し力を入れてPRしないといけない。府議会議員も市

議会議員もいらっしゃるので、もう少しPRしてもらわないといけません。

(委員) 美山町はCATVだけではなくて、Facebookでも振興会が作って
どんどん載せています。

(議長) ありがとうございます。美山町だけではなく園部町に繋がり日吉町に繋がり八木町に繋がっていくような、点で繋がっていくのではなく線で繋がって波及していくような、地域おこしができたらと思います。いろんな駅に観光案内所のようなもの、パンフレット、ケーブルテレビもせっかく南丹市の紹介番組がいっぱいあるのでそれを集約したものを流して頂いて、ここはこうやって行けるような、本当にちょっとしたところでいいと思います。園部町は特に美山町に繋がる電車の駅がありますので、そういう場所がテレビに流れているだけでもいいですし、それをまた検討して頂いたらと思います。いろんないいところを紹介して頂いていますので、それを集約した南丹市の紹介映像を各番組で流れて幾度も繰り返して頂いてもいいですし、そういうものを作って頂けたら有難いなと思います。

(議長) 他にはどうでしょうか。何かご意見、ご質問等ございませんか。

それではないようですので、意見交換はこのあたりで終了させて頂きたい
と思います。いろいろな質問やご意見をありがとうございました。事務局には本日、各委員の皆様から出されましたご意見やご提案につきまして、真摯に受け止めて頂き、前向きにご検討ご対応頂きますことをお願いしたいと思います。

(事務局) 大変ありがとうございました。

3. 閉会

以上